

札を繙いて、それ拾ひ取る競争をさせ、又黒板に一兒の姓名を書き、書かれし兒はそれを見て起立する等のことを適宜いたします。

一、其他小さな事ですが左に列擧すれば

イ、机の排列を小學校の如くする事。

ロ、新入學後直ちに體格検査に遭遇しますから其準備として、衣服の着脱を己が力でなし得る程度に練習する事。

ハ、前期に比し在室時間を徐々に長くする事。

ニ、在園紀念として一兒一葉宛繪を畫き殘させる事。

ホ、左右、週名等を明確に知らせる事。

ヘ、己が住所父母の姓名を他の問ひに對して、

答へ得る様導く事。

ト、小學校教授に於ける注意力を養成する一助

として保姆のいふことを、なるべく再びせざる様にする事例へば(積木をお取りなさい)と云へば(何をです)と再び聞くとともにこれに對する答をなさず靜に考へ想起せしむる類。

先づ斯様のことを致して居りますが、考へるより行ふは六かしく、行うても充分効果あらせることは尙ほ六かしく、いろいろ御示教を願ひます。

幼稚園教育に於て家庭教育が基礎をなす如く學校教育に於ては又幼稚園教育が一層大切な基礎をなす事は自明の理であります。いや猶進んで幼兒

の人格の構成は此の時期の教育が與り加つて一個の大なる要素をなすのであります。但しこの大切な幼稚園教育は決して別のものではなく教育一系統

岡山縣女子師範學校  
附屬幼稚園保姆

岡

政

中で、しかも家庭と學校との中間に立つべき大切なものであります。故に幼稚園側に於ては、果して其次に来るべき學校教育の基礎聯絡を如何すべきかと云ふ事を考へてかゝらなければなりません。併し學校は學校、幼稚園は幼稚園で各特種の目的があつて其施設の總てが學校に都合よく聯絡せしむる事は出来ません。依つて是れは申す迄もなく、これを受持つべき保姆と訓導とは廣き意味に於て全くの協力者となつて、兩方から互に注文もし又相談もして恰も兩者は唇齒輔車の關係をとつて、そうして其結果が充分實行し統一せられ、ばよからうと思ひます。

そこで先私は幼稚園からとして、考へて見て、幼児の爲め適當と思ふ事の一つ二つを申述べて、皆様の御教へを希上ます次第であります。

さて聯絡と申ししても、各幼児個性誘導上直接に聯絡を要する事もありませんし、又大きく幼稚園教育全般として聯絡を要する事も多くありません。

す。それで以下個條を分けて申しますと。

#### 一、保姆に關する方面

先聯絡の第一歩としては、保姆が學校教育といふものを理解することが肝要と思ひます。毎日大切な幼児をあづかつて居ながら、是等幼児が幼稚園を去ると同時に學校でどんな教育を受けるのであるか位は知らなければ、到底完全の保育は出来ませぬ。教育といふ仕事は過去を知り現在を知りそして將來に向つて必ず期する所を有するもので、其の日／＼がすめばそれでよいと云ふ事はないのでありますから、保姆教育の理論を學び正しい教育全般の指針を知ると共に、實際方面の教授状態をも知る必要があると思ひます。幸にして私の校では時々批評教授等がございますから、幼年級の時には成るべく練習させて參觀し批評も大きく事と致して居ます。それからまた、幼稚園に於て批評保育を致します際には、學校側の主なる人と幼年級受持の指導とは成る可く臨席してもらつ

て基礎教育、特に學校教育前の遊戯的取扱法をも見てもらひ意見をきく事として居ます。これは私共が學校の教授法を見るよりも一層効果の多い事の様になります。

## 二、保育の全般に關する方面

### (イ) 訓導の方針と其實施細目

聯絡の第二步と致しては幼兒をして如何にして學校教育に容易に聯絡し得らるゝかを謀ることであります。是れは教育といふ根本の大方針は何れも變ならぬと致しましても、家にそれ〳〵家風習慣がある如く、學校にも其理想とする點が皆いくらか異つて居ますから、基礎たる幼稚園教育をこれに應ずる様適當に導く事は最大切かと思ひます。依て訓練するに當りましても幼稚園は家庭方面の理想を斟酌すると共に、學校教育の方針に矛盾せぬ様實施細目を作り、そして學校の訓育へ滑かに入らしむる事をつとめなければならぬと思ひます。

### (ロ) 保育項目

是れは學校の教科目とは全く性質を異にして居ますため、規定を作つてそれ以外のものは全く用ひぬとか、又學校の教科と聯絡を作らねばいかぬとかいふような窮屈なことは必要でないと存じます。唯々幼稚園教育其ものゝ目的を達するため、保姆の經驗と不斷の考案とを以て適當と思ふものをとりまして、例へば各兒を桃太郎の老姥に擬へて、各自の椅子の覆布を洗濯させますとか、又此頃では男女各兒に風を持たせて風上競争させますとか、又幼兒を羊の小屋に入れて三匹の羊を相手に同じように戯れ廻るとか、斯くして半日は時の間に過されます。是等は學校の教科とは外見何等少しも關係ない事ではありますが、幼兒に善良の情緒習慣を感得せしむる所謂教育の形式的目的を達する方面に於て、確かに一つの基礎となり聯絡となり學校に於てより實を結ぶに至る事と信じます。又結果として幼兒相當の知識を自ら修

得する事となると思ひます。猶幼兒が學校へ行つた後とても幼兒との關係をたはず嘗て幼稚園時代に於て栽培して居た豌豆等の實が出ましたら、それを共に收穫共に料理して晝食時に與へ、猶學校へ送つて豆細工の時に使用させますとか、其他數へて行けばいろいろ實施し得ることが澤山あります。

それでつまり私は左の如き考へを持って居ます。即ち保育事項は幼稚園教育の目的を達する手段として便宜採擇して、その教育の原則の規範を逸せざる範圍内でこれを取扱つて、そして是れによつて専ら教育の形式的方面の發達を促す事をもつて

聯絡の大綱と考へ、目につく程の知識分量上の聯絡は少し考ふる要はありませんと思ひます。但し幼稚園は學校に對する義務、幼兒に對する親切として、假りに手段としても用ひたる保育の實際細目は一學年受持訓練に送つて參考に供する必要があると思ひます。又幼兒の在園中に於ける心身の狀態を成る可く委して記して教育上の參考とし、個性觀察の結果並に其誘導方法の記録は學校の訓練上最大切なものと思ひますから一學年受持訓練に送つて活用してもらひ其調和統一を解ることの必要は申す迄ありません。

東京市誠之幼稚園保母 小 向 喜 美

〔第一項〕  
之には實に困却いたします。過日大會の節にも

私は殆んど申述ぶる意見がなく黙して居りました次第で御座います。然し今日迄試みました條々を